

令和5年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	生ごみ処理機器購入助成事業		
担当課	地域生活課	担当係	環境係
日時	令和5年7月6日 9時00分～9時25分		
質疑応答 (発言者)			
委員	毎月広報でごみの量が掲載されているが、人口が減るとごみの量も減ると考える。現在、町民一人当たりの量は減っているのか。		
説明員	手元に詳細資料はないが、町民一人当たりの量は実はあまり変わっていない。課題の一つとして内部で話し合っているところである。		
委員	現在は個人を対象としているが、集落や公民館などの団体を対象とする考えは。		
説明員	可能だと思う。		
委員	環境係からは、夏場は特に生ごみの量が多いと聞いたため、自宅で電気式の生ごみ処理機を使用している。電気代は多少かかるが、だいが量が減ったので、各家庭でも取り組んでもらえるよう、町から働きかけていただきたい。また、夏場の燃えるごみの量など、目に見える形で知らせてもらえたらと思う。		
説明員	年単位ではなく、月単位ということか。		
委員	毎月ではなくとも、2ヶ月に1回とか。具体的にこのくらい量が減ったと分かれば、町民にとっても意識付けにもなる。また、ごみの分別方法についてもまだ徹底されていない部分があるので、分かりやすい表現で周知してもらえるとありがたい。		
委員	自然発酵式と電気式の1台あたりの単価は大体どのくらいか。		
説明員	自然発酵式は大体1台5千円くらいで、電気式は高いもので10万円を超えるものもある。		
委員	コンポストはある程度広くて土がある場所でないと使えないのか。		
説明員	微生物が分解するため、コンポスト専用の用品があると聞いている。		
委員	見える化は重要だと思う。町民一人一人の工夫の結果ごみの減量化につながるという意識付けとして周知するのも良いと思った。また、ごみ処理費用が重量によるのであれば、出来るだけ減量化して費用負担を抑えることも町民にとってはいいことだと思う。		
外部評価の 意見	生ごみの減量化を町民の意識付けになるよう周知・PRに努めていただきたい。	方向性	
		改善	

令和5年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	動物相談指導事業					
担当課	地域生活課	担当係	環境係			
日時	令和5年7月6日 9時25分～9時35分					
質疑応答 (発言者)	<p>委員 野良猫の補助金額について、全額負担するのか。それとも一部自費となるのか。</p> <p>説明員 飼い猫の補助金額よりは多いが、一部負担していただいている。</p> <p>委員 課題として外部団体との連携を挙げているが、現在何か行っているか。</p> <p>説明員 主に情報交換を行っている。個別に相談に来たり逆に相談したりということも。</p> <p>委員 自宅周辺でも、段ボールに入れられた野良猫を見たことがある。全体ではどうか。</p> <p>説明員 他にもそのような事例はある。可哀想だからという理由等でつい餌やりをしてしまうこともあり、結果としてもっと可哀想なことになってしまうので、問い合わせがある場合は気持ちを汲んだうえで、餌をあげないようにお願いしている。傾向としては、福祉に繋がっている方々が多いように思える。</p> <p>委員 R4決算額について。手術は遊佐だけではなく他の動物病院でも行われているのか。</p> <p>説明員 様々な病院で行われているので、すべてが町内というわけではない。</p> <p>委員 事務事業評価シートの予算について、クラウドファンディングの記載がない。財源を賄っているのであれば、ここに記載した方が分かりやすい。</p> <p>説明員 承知した。</p> <p>委員 成果指標について、R4年度は93件で目標の63件を上回っている。簡単に達成出来る数値目標となっているが、その根拠は。</p> <p>説明員 R2年度の件数を基準にしたものと思う。ただし、件数が多ければ良いという性質の補助金制度ではない。</p> <p>委員 町内の動物保護団体は庄内アニマル倶楽部以外にあるか。</p> <p>説明員 他にはない。</p>					
外部評価の意見				福祉分野との連携を図って事業を進めていただきたい。		方向性 改善

令和5年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	エコすまいる・ゆざ育成支援事業		
担当課	地域生活課	担当係	環境係
日時	令和5年7月6日 9時35分～9時45分		
質疑応答 (発言者)			
委員	課題として枠組みの見直しと記載しているが、具体的にどのようなことをしているか。		
説明員	研修会の開催や、町民や職員にも情報を提供する機会を多く持ちたいと考えている。例えば、カーボンニュートラルについては、職員も含めて理解が進んでいない部分もあるため、研修活動に力を入れたいと考えている。		
委員	協力団体謝礼の他に、個人への謝礼はあるか。ないとすればあった方が良いと思う。		
説明員	個人への謝礼はない。活動の仕方もあると思うので、検討させていただければ。		
委員	予算・決算額について、R3年度がピークでR4年度が減少しているが、活動の縮小等が要因なのか。		
説明員	R3年度に実施した事業をR4年度に廃止したため減少となっている。		
外部評価の 意見	関係団体と協議を進め、今後の事業の進め方について検討をしていただきたい。		方向性
			縮小

令和5年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	八ツ面川管理支援事業		
担当課	地域生活課	担当係	環境係
日時	令和5年7月6日 10時10分～10時40分		
質疑応答 (発言者)			
委員	川を管理している集落は10～11ほどあるが、どのような集落が関わっているのか。		
説明員	おおよそ、大楯集落から岡田尻引集落まで、流域にある集落となっている。		
委員	保全池の状況について説明してほしい。		
説明員	元々は稀少生物を保護するために池を作り、町民の憩いの場となるよう池の中に橋を作ったが、経年劣化により現在は立入禁止としている。また、ガツギに覆われており景観があまりよくない状況である。生活クラブ生協の基金事業によって整備する予定となっていたが、実現が難しくなったため予算化出来なかったという状態である。また、遊佐病院前の水路では小学生による体験学習を行われており、今年も実施予定。集落によって趣向を凝らした事業（灯籠流し・ホタルの見学）を行っている。		
委員	自分の集落では夏休み期間に小学生や保護者を対象とした事業を行っている。好評だったので今年度も予定している。また、ドジョウ等の生物との共生を図るためあえて草刈りは控え目に行っている。		
委員	ぜひ、他の地域にも取り組みを周知していただきたい。		
委員	今月も小学生を対象とした事業を行う。子どもたちの声を聴くと元気が出る。		
委員	活動の裏での努力があることも知ったが、稀少生物等の生態系はぜひ残してほしい。また、修繕も危険が伴う前に進めてほしい。		
委員	ジオパーク絡みの構想があると聞いたが、具体的に説明してほしい。		
説明員	八ツ面川も教材として活用出来ることから、まずは看板を整備した。そこから全体的な整備として保全池や見学出来るような張り出しの設置といった内容を考えている。再び、町民の憩いの場に出来れば。		
外部評価の 意見	稀少生物保護のため関係団体と協議を行い、計画的に進めていただきたい。	方向性	
		改善	

令和5年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	再生可能エネルギー設備導入補助事業		
担当課	地域生活課	担当係	環境係
日時	令和5年7月6日 10時40分～10時50分		
質疑応答 (発言者)			
委員	町のリフォーム補助金事業との整理について、内部での検討は進んでいるのか。		
説明員	県のリフォーム支援事業と関係もあるが、省エネに特化したメニューもあっていいと考えている。そのあたりは整合性を取りながら考えていきたいと思っている。		
委員	個人負担はどのくらいあるのか。		
説明員	だいたいある。太陽光発電は、容量にもよるが平均すると大体200～300万円くらいで、薪ストーブは安くても20～30万円くらいはする。		
委員	薪ストーブは、CO2排出に配慮したものなのか。		
説明員	ストーブ本体というよりは、薪自体の利用を指している。元となる木はCO2を吸収するため、燃料として木を使うことによって森林整備や間伐材としての利用を促す、という仕組みになっている。		
委員	昔ながらの薪ストーブというよりは、ペレットストーブ等対象を絞っているのか。		
説明員	ペレット・チップ・薪・モミガライトの使用に限っている。		
委員	以前と比べると、ペレットストーブの話題が少なくなったような気がするが…		
説明員	電気代が高くなっている関係で、薪ストーブは少しずつ増えてきている。特に断熱性の高い家だと、薪ストーブを少し稼働させるだけで暖かさが維持されるという話もある。		
委員	町のエネルギー基本計画にも出てきているが、数値目標は設定されているか。		
説明員	再生可能エネルギーの導入率等設定している。今年度計画の見直しがあるので、改めて設定する必要がある。		
外部評価の 意見	助成内容の見直しを行い、事業を進めていただきたい。		方向性
			改善

令和5年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	環境・エネルギーに関する研修会開催事業		
担当課	地域生活課	担当係	環境係
日時	令和5年7月6日 10時50分～11時00分		
質疑応答 (発言者)	<p>委員 洋上風力発電事業について、どの研修会にもなかなか人が集まらない現状がある。町民の意識というと、特に20～30代が将来的には一番関わってくると思うが、関心を持ってもらえるような勉強会を開催するなど頑張っていたきたい。</p> <p>説明員 勉強会等で住民に情報提供をしていきたいので、国・県には最新の情報を積極的に提供していただきたい旨を伝えているが、なかなか出てこないのが現状である。洋上風力発電に限らず、具体的に「こういった研修会を開催してほしい」とか、「こういった中身について勉強したい」というような要望があれば教えてほしい。</p> <p>委員 知識として知らないこともあり不安に思う方もいると思うので、こういった勉強会は積極的に開催してほしい。</p>		
委員			
説明員			
委員	知識として知らないこともあり不安に思う方もいると思うので、こういった勉強会は積極的に開催してほしい。		
外部評価の意見	事業内容を町民にPRを行うとともに、研修内容の充実に努めていただきたい。		方向性 改善

令和5年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	集落内自主除雪の支援事業		
担当課	地域生活課	担当係	土木係
日時	令和5年7月6日 13時～13時30分		
質疑応答 (発言者)			
委員	除雪する方の高齢化が大きな課題となっている。 作業時間が最も多かった集落と少なかった集落の差ほどの程度か。平均は。		
説明員	年間限度額の12万円まで達した集落は榊坂、上吉出、十日町の3集落。少ない集落については、申請していない集落もあるため作業時間ゼロとなる。		
委員	助成金額が1時間当たり1,000円から1,100円になったが、要望してから大分時間が掛かった。		
説明員	近年の燃料費高騰を反映しての増額である。作業に対して相応の金額ではないとの意見は以前からいただいている。今後の事業実施に向けて支援策を進めていく必要があると認識している。		
委員	除雪に使用する機械の保険等について町で対応できないか。		
説明員	燃料費に対する支援制度のため対応できていない。これまでも要望があり、必要性は感じている。有事の際は町に相談してくださいと案内しているが、対応については定まっていない。		
委員	3集落が限度額の補助を受けているとのことだが、除雪面積でいえばもっと大きな集落もある。排雪場所の有無が作業時間に与える影響も大きいのではないか。もっと作業時間や負担を減らす工夫を。		
委員	作業時間の多い集落については作業内容を確認しているのか。		
説明員	区長からの報告を書面及び添付写真等で確認している。現場での確認は行っていない。 稼働している機械の台数の差も、金額の差の一因と考えられる。		
委員	疑問を感じる部分であるため確認して課題解決に努めていただきたい。申請していない、除雪機械の無い集落はどうやって除雪をしているのか。参考にできるところがあるかもしれないため調査・検討してほしい。また、全国的な取り組みについても調査を。		
説明員	八幡ではボランティアで高齢者世帯の間口除雪を行っている。除雪を安定した事業として行えれば良いが、降雪量に左右される仕事であるため沿岸部では難しい。		
外部評価の 意見	事業協力を確保するための方策を検討していただきたい。		方向性
			改善

令和5年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	メイクアップロード推進事業		
担当課	地域生活課	担当係	土木係
日時	令和5年7月6日 13時～13時30分		
質疑応答 (発言者)	<p>委員 大変いい事業。世代間交流も兼ねて実施している。引き続き取り組んでほしい。</p> <p>委員 問題解決に向けて具体的に何をしているか。</p> <p>説明員 水遣り、草むしり等維持管理が大変だと相談を受けている。除草シートの活用や消耗品の支援について考えている。</p> <p>委員 維持管理についても高齢者に頼らざるを得ないところがある。町からもご協力いただきたい。</p>		
委員			
委員			
説明員			
委員	維持管理についても高齢者に頼らざるを得ないところがある。町からもご協力いただきたい。		
外部評価の 意見	町内美化運動を進めるため、維持管理の工夫を行い進めていただきたい。		方向性
			改善

令和5年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	濁水（赤水）対策事業		
担当課	地域生活課	担当係	上水道係
日時	令和5年7月6日 13時45分～14時10分		
質疑応答 (発言者)			
委員	定例排泥と強制排泥の違いは何か。		
説明員	定例は毎月4月から11月に、町の水道事業者が実施している。冬季間は危険なため実施していないが、3月に濁りが出た際は行う場合もある。強制排泥は配水池ごとに対応している。平津は毎年、その他のエリアは隔年や濁り具合を見ながら対応している。		
委員	町民への周知はどうなっているか。		
説明員	強制排泥については広報や防災無線、当日の広報車両での巡回等により周知を行っている。定例排泥については水の利用に支障が無いよう対応しているため周知していない。		
委員	配水池は何か所あるのか。毎年すべて清掃しているのか。		
説明員	町内に11箇所ある。主要なところを中心に清掃を実施している。		
委員	各年度の決算額の差額は何か。		
説明員	強制排泥の実施回数と従事している事業者の人数による差である。		
委員	成果指標の苦情件数が毎年0件。日々の業務努力に御礼申し上げる。		
説明員	近年は濁水の苦情はほぼないが、その他の苦情は少しある。引き続き対応に努めたい。		
委員	6月も強制排泥をしていた。お疲れ様でした。以前は濁水がひどかったが、近年は問題なく過ごせている。ありがとうございます。		
委員	強制排泥とは具体的にどういうものか。		
説明員	水道管に高い圧を掛けて水を強制的に吐き出させ、水道管内に付いている汚れを出す作業となる。		
委員	その実施回数が決算額に影響するという事か。		
説明員	そのとおり。		
佐藤班長	平津2系と間隔を開けずに文殊系の強制排泥を実施したとあるがどういうことか。		
高橋係長	文殊系は平津2系に含まれるが、同時に作業するのが難しいため分けて作業をしている。間隔を開けずに強制排泥を実施することにより、お互いの強制排泥による濁水の影響を受けずにきれいな水を維持するための取り組みである。		
外部評価の 意見	計画的に事業を進めていただきたい。		方向性
			継続

令和5年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	上水道使用料金収納率向上対策事業		
担当課	地域生活課	担当係	上水道係
日時	令和5年7月6日 13時45分～14時10分		
質疑応答 (発言者)	<p>委員 納付書や振替不能通知、督促状等の年間発送数の実績は。</p> <p>説明員 口座振替の方が増えているため、納付書の発送は年々減っている。振替不能通知については毎月200件ほど送付しているが、それでも納付されない場合が2, 30件ほどある。</p> <p>委員 給水停止の実施件数は何件ほどか。</p> <p>説明員 年間4回ほど実施している。1日の実施で多いと12件ほど給水停止を行う。</p> <p>委員 アパートや借家と持ち家、戸建てでは納付状況に差があるか。</p> <p>説明員 持ち家、戸建ての方の方が滞納者が多い傾向にある。</p> <p>委員 滞納する世帯には庭が広い、ペットを飼っている等の事情があるか。</p> <p>説明員 ペットを飼っている世帯は多い。</p> <p>委員 給水停止が実施された後に納付する方はいるか。</p> <p>説明員 給水停止が一番効果が大きく、納付しに来る人もいる。しかし長くは続かない。</p> <p>委員 毎回同じ人が滞納しているのか。</p> <p>説明員 そうだ。</p> <p>委員 すべて納めてもらえればどのくらいの金額になるか。</p> <p>説明員 年度によっては100万円を切る年もある。同じ方が毎年度滞納しているという状況が多い。滞納者が高齢で、生活困窮者・生活保護となる場合がもっとも対応に苦慮する。不能欠損処理として落とす場合もある。</p> <p>委員 生活保護に繋げるような福祉サイドとの連携もあるのか。</p> <p>説明員 こちらから仕向けることはしないが、福祉サイドとの情報共有は図っている。</p> <p>委員 遊佐町の水道料金は県内では高い方か。</p> <p>説明員 高い。基本料金の設定が違う部分もある。遊佐町は従量制の部分が高い。</p>		
外部評価の意見	着実に実施していただきたい。		方向性
			継続

令和5年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	受益者負担金未納者対策事業		
担当課	地域生活課	担当係	下水道係
日時	令和5年7月7日 9時00分～9時40分		
質疑応答 (発言者)			
委員	戸別訪問の方法、水洗化率について、また令和3年度町としての考え方の中に「見極めながら」とあるがどういう基準なのか。		
説明員	戸別訪問では、電話掛けを行い納付状況の説明をし、アポイントを取る。訪問の時は、町職員が訪問し、下水道事業の説明と公平性・平等性を説明し納付をお願いしている。水洗化率は、公共下水の場合、対象者が10,337名、接続しているのが8,091名で78.27%。農業集落排水の場合、対象者が1,348名、接続しているのが1,200名で89.02%となっている。「見極めながら」とは、生活状況を見極めるということ。未納者には個別の事情を持っている方も多く。そういった方には分納等の対応を取っている。		
委員	令和4年度の未納状況はどうか。		
説明員	現年度は1人3件で40,500円、過年度は42名140件1,538,900円となっている。		
委員	事業No. 742（受益者負担金未納者対策事業）は下水道に接続している人、事業No. 55（下水道水洗化事業）は接続していない人とするのか。		
説明員	受益者負担金事業は、公共枿を設置している土地に対して係る負担金で1度限りの負担となる。下水道水洗化活動事業は公共枿への接続を進める事業となる。		
委員	リフォームをする際、リフォーム助成金が支給されている。条件として、下水道に接続していることとするべきである。また、工務店に接続の推進に協力してもらってもいいのではないか。		
説明員	ご指摘のとおりである。管理係の遊佐町持家住宅リフォーム支援金事業では、すでに下水道に接続されていることが条件となっている。また、資料P55にあるように下水道工事業者に下水道接続の営業をお願いする通知を発送している。		
外部評価の 意見	引き続き、計画的に実施していただきたい。		方向性
			継続

令和5年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	下水道水洗化活動事業		
担当課	地域生活課	担当係	下水道係
日時	令和5年7月7日 9時40分～10時00分		
質疑応答 (発言者)			
委員	下水道整備済み区域内の公民館の接続状況は。		
説明員	遊佐地域では4つの公民館が未接続である。公民館がない集落や、複数の集落で1つの公民館を使用しているといった状況がある。令和5年度は接続の申請が2件あった。		
委員	接続していない公民館は個別の浄化槽等で処理しているのか。		
説明員	そのとおりである。合併浄化槽や汲み取りの公民館もある。		
委員	個別の浄化槽では近隣に臭いがしてしまう。		
説明員	そのとおりである。合併浄化槽と単独浄化槽があるが、単独浄化槽はトイレのみの処理であり、合併浄化槽は洗濯等の生活排水を処理する。臭いの問題は単独浄化槽や、汲み取りになる。		
委員	単独浄化槽はトイレ以外の排水は用水路に流れるのか。		
説明員	用水路や地下浸透等、各家庭の状況による。町としては合併浄化槽もしくは下水道に接続するよう呼びかけている。		
委員	近くで汲み取りの家がある。臭いがあって大変である。町にそういった声は届いてないのか。		
説明員	町にもそういった声は届いている。職員が現場で確認を行っている。対応としては、区長に連絡し、下水道に接続するよう集落全体に周知してもらうようお願いしている。		
委員	町議員のことも記載されているが、記載した理由はあるのか		
説明員	町民の皆様をお願いする前に、町職員と町議員から率先して接続するようお願いした。		
委員	町議員の情報まで記載する必要があるのか疑問である。地域おこし協力隊の隊員が町内会費を払わないことがあった。町の関係者ということであれば、そういった人にもしっかり説明しないとイケないのではないのか。		
説明員	外に出す情報としては町職員だけでいいのかもしれない。持ち帰って検討したい。 (後日評価シートを修正)		
外部評価の 意見	補助制度のPRを行い、水洗化率の向上に努めていただきたい。		方向性
			改善

令和5年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	町民協働公園づくり支援事業		
担当課	地域生活課	担当係	管理係
日時	令和5年7月7日 10時00分～10時10分		
質疑応答 (発言者)			
委員	管理は何か所しているのか。		
説明員	都市公園5ヵ所、河川公園7ヵ所の管理を行っている。		
委員	支援金の補助率はいくらか。		
説明員	遊具に対しては、補助対象経費の4分の3で上限は100万円である。付帯設備に対しては、補助対象経費の2分の1で上限は70万円となっている。		
委員	集落から公園を新しく作ってくれという声はあるか。		
説明員	公園を新しく作る予定はない。現在は維持管理に重点を置いている。		
委員	方向性が縮小の理由は。		
説明員	申請件数が多くなるものではないが、危険遊具の撤去にも利用できる制度のため、縮小として事業を進めていく。		
委員	集落にPRしていかないといけない。		
説明員	危険遊具の撤去や維持管理に活用してもらうため、しっかりとPRしていきたい。		
外部評価の 意見	公園の計画的な整備、事業の周知に努めていただきたい。		方向性
			縮小

令和5年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	少年町長・少年議員公選事業		
担当課	教育課	担当係	社会教育係
日時	令和5年7月7日 10時20分～10時50分		
質疑応答 (発言者)			
委員	課題にもあるように、不参加のメンバーについて理由と対応策は何かあるのか。		
説明員	中高生は、部活動や生徒会活動も行っているため参加できない時が多くあった。対応としては、学生の負担にならないよう集まる機会を減らし、1回の会議で効率良く行うよう進めたい。		
委員	特産品について具体的に教えてほしい。		
説明員	道の駅ふらっとに協力をいただき、パッケージのデザインを一緒に検討した。		
委員	投票総数などの数値を教えてほしい。		
説明員	有権者数は、在住在学を合わせて589名。投票数が513票で投票率は87.1%であった。		
委員	成果指標の目標年度が令和8年となっているが理由はあるのか。		
説明員	総合戦略の計画年度に合わせた数値となる。		
委員	少年町長、少年議員の他に役職があるが、それぞれの役職の説明を行っているのか。		
説明員	役職は多くあるが、実際には少年議員と同じ活動を行っている。		
委員	成果指標の目標値85%の理由とそれに向けての対策はあるのか。		
説明員	コロナ過ということで実績が70%代となっているが、コロナ過前は80%、82%という数値となっていた。「若者の思いを取り入れたまちづくりをしていると思う」ということを目指し85%をとしたい。		
委員	他の市町村で類似の取組みあるのか。また、少年議会の活動方針は町長の方針で進んでいるのか。それともみんな話し合っているのか。		
説明員	活動方針は話し合いで決めており、第2回少年議会で少年町長の方針を発表した。類似の取組みについては、昨年度南陽市が視察に訪れており、今年度から行う予定とのことである。		
委員	遊佐マルシェの商品はたくさんあるのか。		
説明員	商品については募集を行ったが、商品が足りなかったため、少年議員が選んだ商品を店にお願いして販売した。		
委員	アンケートを行っているが、どういった基準で政策に取り入れているのか。		
説明員	現在アンケートを集約しているが、政策にしやすい回答や、議員自身がやりたいことがあるため、その2つのパターンから決めていく。		
委員	アンケートを集約したものはいつ周知しているのか。		
説明員	3月の議会報告書を作成した時に一緒に周知を行っている。 今年度はアンケートについてご意見をいただいた経緯があったため、HP等で早めに周知を検討している。		
外部評価の 意見	若者のアンケートを、町政に活かす工夫をしていただきたい。		方向性
			改善

令和5年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	遊佐高校就学支援事業		
担当課	教育課	担当係	総務学事係
日時	令和5年7月7日 11時00分～11時20分		
質疑応答 (発言者)			
委員	成果指標の目標値32人に対して令和4年度は24人と伸び悩んでいる。 また、活動量が3の理由は。		
説明員	<p>いろんな選択肢がある中で、なかなか目を向けてもらえていない。</p> <p>活動量としては、高校や町、近隣の市町等の場所で事業の説明を行っている。県外留学生だけではなく、地元の中学生にも加わってほしい。今まで中高生で海岸清掃を行ってきたが、今年度は小学校も含めた小中高併せた事業を検討している。小中高生がふれあえる機会が足りなかったと感じている。</p>		
委員	令和4年度の予算が400万、令和3年度が160万、令和4年度が250万となっている。		
説明員	高校の定員で予算を組んでいるが、実際の入学者数が少なければ差額が発生する。決算の段階で使わない部分は町に返しているため、決算額が年によって変わっている。		
委員	自動車取得は遊佐高では何の科目になるのか。		
説明員	支援事業は就学支援、通学支援、キャリアアップ支援金とあるが予算上は1本である。免許取得は6万円の支援となっており、希望のある生徒に対して補助している。		
委員	地元の高校に魅力を感じない。魅力があればこういった支援事業の活用も増える。魅力化も頑張ってもらいたい。成果指標の目標年度での目標値は達成できるのか。		
説明員	現状では地元の生徒に入学していただかないと難しい。企画係とも協議し、進めていきたい。		
外部評価の 意見	高校の独自性を創り上げ、生徒の確保に繋げていただきたい。		方向性
			改善

令和5年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	遊佐高校就学支援事業（通学支援）		
担当課	教育課	担当係	総務学事係
日時	令和5年7月7日 11時20分～11時45分		
質疑応答 (発言者)			
委員	酒田-遊佐間の定期代はいくらか。		
説明員	片道230円程度だったと思われる。定期は期間によって金額が変わる。		
委員	タクシーの送迎が3コースで運用していたと思うが、3コースの理由は。増やす予定は。		
説明員	3つのコースに固定する必要はないため、利用する生徒が増えれば対応したい。		
委員	1人の利用でもタクシーを利用できるのか。		
説明員	1人でも利用できる。毎月の授業予定を確認しながら予約してもらっている。		
委員	他校にはない魅力的な支援である。どうやって魅力を感じてもらおうか。		
委員	町民から遊佐高の支援について問い合わせはあるか。		
説明員	ない。		
委員	資格の取得に対する支援といった、進学・就職する際の支援があっても良いのでは。		
委員	遊佐高に係る町全体の予算は。		
説明員	4,000万円から5,000万円と思われる。		
委員	高校を選ぶときに何が魅力あるのかと考えたとき、外部とのコミュニケーションが大事だと思う。県外との関係はあるが、他の高校との関りはあるのか。		
説明員	他の高校との関わりは聞いてないので確認したい。 (後日回答：地域の大人との交流（農作業活動、住民運動会への参加、デュアル実践等）はあるが、特に学校として他の高校生徒との関わりはない。7/27に全国高等学校小規模校サミットには参加予定)		
委員	遊佐中学校の生徒に、酒田の高校に行かなくてもいいようアドバイスができるよう、特化した魅力的なことを検討してほしい。例えば遊佐高校でも進学・就職に希望が持てるなど。		
委員	地域みらい留学生で、東北公益文科大学に進学して遊佐町に残っている生徒もいる。魅力的な制度である。		
説明員	進学・就職の部分で、新たに求人いただいた企業もあった。また、進学しても町に関わってくれている生徒もいるため、地域みらい留学制度の初年度としては非常に良かったと感じている。		
外部評価の 意見	生徒数の確保のため、計画的に事業を実施していただきたい。		方向性
			継続